

議題1 報告資料

第54回 港清掃工場運営協議会

日時 令和7年1月27日(月)
午後2時～
場所 みなとパーク芝浦2階
港区立消費者センター 講習室

目 次

1 報告事項

(1) 工場の操業状況

- ① ごみ搬入・灰搬出 1
- ② ごみ焼却 3
- ③ 炉別稼働実績・予定 4
- ④ 操業に係る区民の声対応状況 4

(2) 環境調査結果

- ① 排ガス調査結果 5
- ② 排水調査結果 6
- ③ 臭気調査結果 8
- ④ ごみ性状調査結果 9
- ⑤ ダイオキシン類調査結果 10

(1) 工場の操業状況

速報値

① ごみ搬入・灰搬出

項目	単位	令和6年					今期 (令和6年8月～ 令和6年12月)		前年 同期 (令和5年8月～ 令和5年12月)		前年同期間との比較 (増減)		
		8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	合計	平均			
ごみ搬入量及び搬入台数	総搬入量	t	16,377	15,387	14,381	12,291	13,583	72,019	—	68,891	—	3,127 ※	
	内 行政収集量	港区	t	3,699	3,525	3,859	3,723	3,934	18,740	—	19,068	—	▲ 328
		他区	t	2,420	1,447	2,652	2,436	2,494	11,449	—	12,347	—	▲ 898
	内 持込量	t	10,258	10,414	7,870	6,133	7,155	41,830	—	37,477	—	4,353 ※	
	内 早朝量	t	5,394	5,063	4,726	2,916	3,781	21,881	—	17,036	—	4,845 ※	
	日平均搬入量	t/日	607	615	533	455	543	—	550	—	526	24	
	総搬入台数	台	12,519	10,781	10,829	9,527	9,702	53,358	—	51,560	—	1,798 ※	
	日平均搬入台数	台/日	464	431	401	353	388	—	407	—	394	14	
	搬入日数	日	27	25	27	27	25	131	—	131	—	0	
灰搬出量及び搬出台数	総搬出量	t	1,802	1,667	1,563	1,131	1,722	7,885	—	8,223	—	▲ 339	
	内 埋立処分	t	875	852	660	531	676	3,594	—	4,323	—	▲ 729	
		灰資源化	t	715	656	744	546	1,045	3,706	—	3,399	—	307
		施設間輸送	t	212	159	159	53	0	584	—	501	—	83
	日平均搬出量	t/日	67	67	82	63	69	—	69	—	70	▲ 1	
	総搬出台数	台	249	230	208	151	218	1,056	—	1,122	—	▲ 66	
	日平均搬出台数	台/日	9	9	11	8	9	—	9	—	10	0	
搬出日数	日	27	25	19	18	25	114	—	118	—	▲ 4		

(注) 表中の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、総数と内訳数の合計等とは一致しない場合があります。
 ※ 近隣工場の停止等により、清掃工場の相互支援のため増加しています。

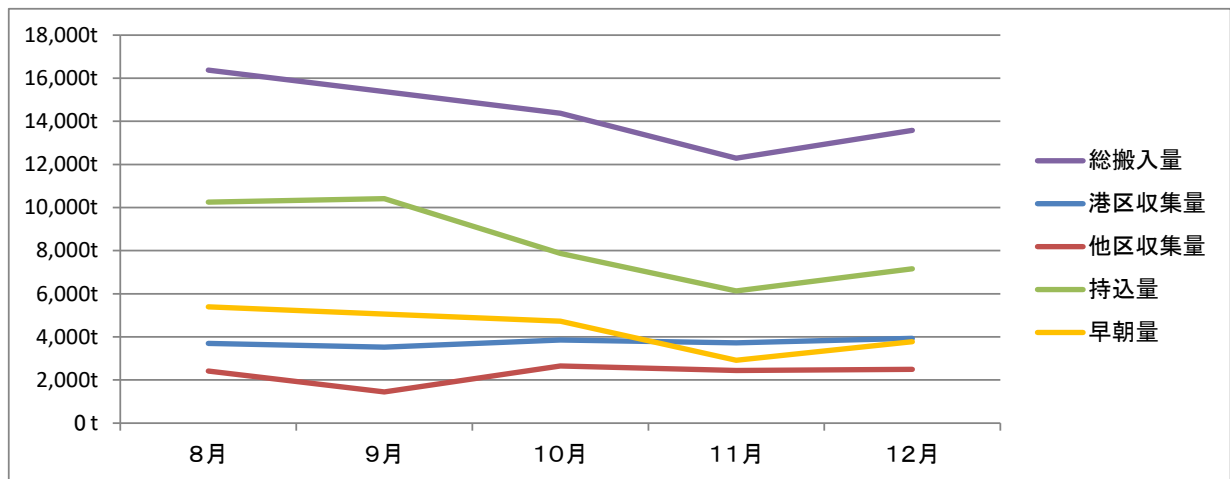
令和6年能登半島地震に伴う災害廃棄物の処理に関する協定に基づく受入量

	単位	令和6年		合計
		11月	12月	
受入量	t	30.44	264.36	294.80
日平均受入量	t/日	10.15	17.62	
受入台数	台	8	66	74
日平均受入台数	台/日	3	4	
受入日数	日	3	15	18

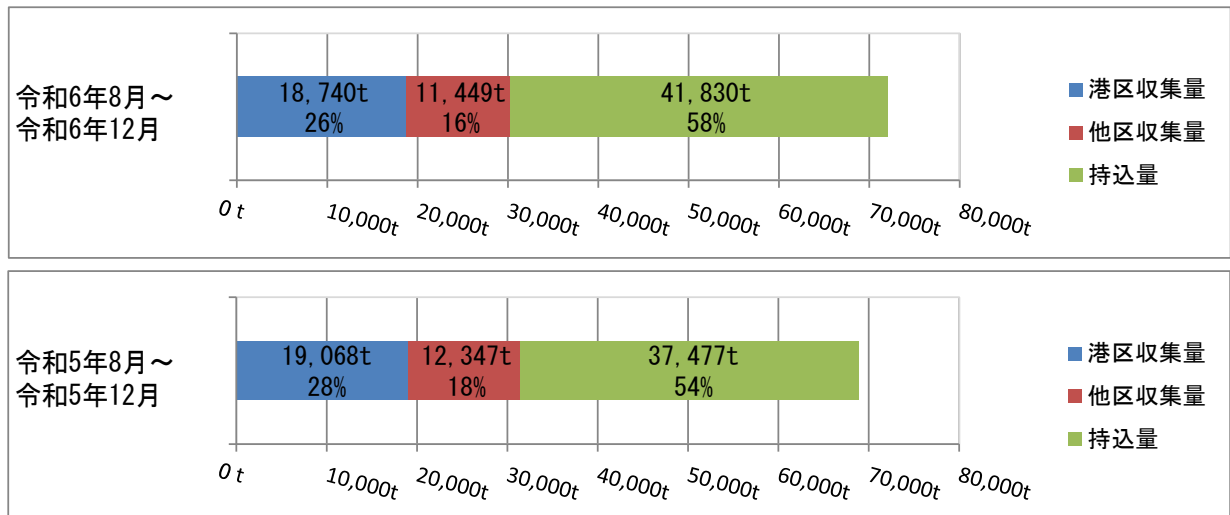
(注) 表中の数値は、上記表(ごみ搬入・灰搬出)の持込量の内数です。

① ごみ搬入・灰搬出

ごみの総搬入量、区収集量、持込量、早朝量の推移

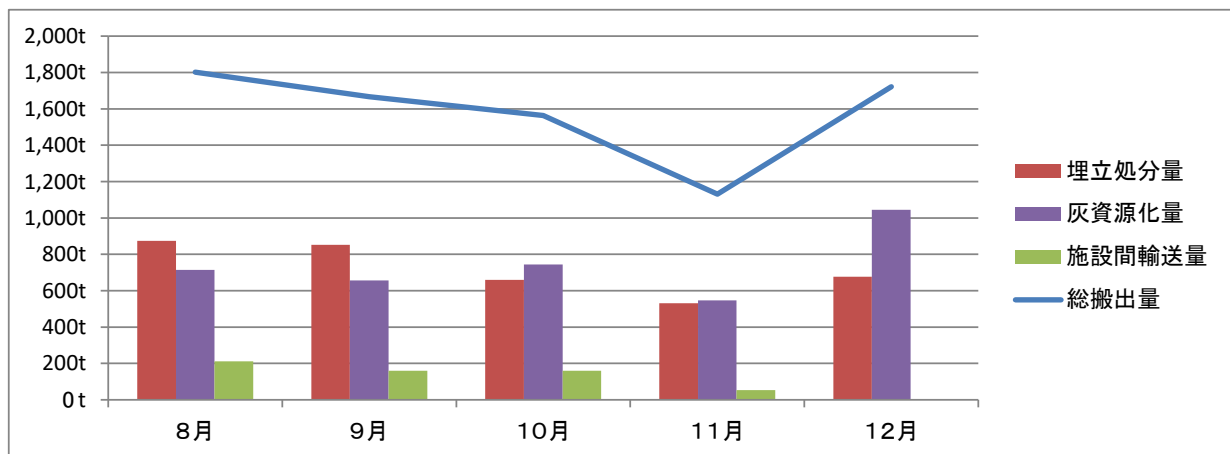


ごみの区収集量、持込量の比率



※今期の港区収集量は、328t減少しています。
 ※今期の他区収集量は、898t減少しています。
 ※今期の持込量は、4,353t増加しています。

灰の総搬出量の推移



② ごみ焼却

項目	単位	令和6年					今期 (令和6年8月～ 令和6年12月)		前年 同期 (令和5年8月～ 令和5年12月)		前年同期間と の比較(増減)
		8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	合計	平均	
月間焼却量	t	17,990	15,599	13,987	11,260	15,334	74,170	—	67,546	—	6,624 ※
日平均焼却量	t/日	580	520	559	512	495	—	534	—	489	44
焼却日数	日	31	30	25	22	31	139	—	138	—	1
停止日数	日	0	0	6	8	0	14	—	15	—	▲ 1

(注)表中の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、総数と内訳数の合計等とは一致しない場合があります。
 ※搬入量増加に伴い、焼却量が増加となりました。

③ 炉別稼働実績・予定

令和7年1月6日現在

炉	年 月 状況	令和6年												令和7年			摘要											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
1号炉	稼働		6	[Red Bar]							10	25	9	[Red Bar]		11												
	停止	5						12	9		26	8				12												
2号炉	稼働	1		16	30		11	5			12	24	[Red Bar]															
	停止		2	15		1	10			6	11	25	22															
3号炉	稼働	[Red Bar]		14	30	12	11	24			24	24	24	11														
	停止			15	29		13	10			25	23	25	10														
備考	(1) 定期点検補修期間 7月12日～12月23日 (2) 全炉停止期間 10月26日～11月8日												<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th><th>実績</th><th>予定</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働</td><td>[Red Box]</td><td>[Red Outline Box]</td></tr> <tr> <td>定期補修</td><td>[Blue Box]</td><td>[Blue Outline Box]</td></tr> <tr> <td>予備炉</td><td>[Yellow Box]</td><td>[Yellow Outline Box]</td></tr> </tbody> </table>			凡例	実績	予定	稼働	[Red Box]	[Red Outline Box]	定期補修	[Blue Box]	[Blue Outline Box]	予備炉	[Yellow Box]	[Yellow Outline Box]	
凡例	実績	予定																										
稼働	[Red Box]	[Red Outline Box]																										
定期補修	[Blue Box]	[Blue Outline Box]																										
予備炉	[Yellow Box]	[Yellow Outline Box]																										

④ 操業に係る区民の声対応状況 (令和6年8月～令和6年12月)

日時	苦情内容	対応
特になし		

(2) 環境調査結果

① 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		炉	調査年月日				単位
	法律	協定書		1号	令和6年6月20日	-	令和6年9月25日	
			2号	-	令和6年7月25日	令和6年9月2日	令和6年11月25日	
			3号	-	令和6年7月26日	令和6年9月24日	-	
ばいじん	0.08	0.02	1号	<0.001	-	<0.001	<0.001	g/m ³ N
			2号	-	<0.001	<0.001	<0.001	
			3号	-	<0.001	<0.001	-	
硫黄酸化物	37	20	1号	<1	-	<1	<1	ppm
			2号	-	<1	<1	<1	
			3号	-	<1	<1	-	
窒素酸化物	83	60	1号	40	-	32	40	ppm
			2号	-	40	41	37	
			3号	-	35	35	-	
塩化水素	430	15	1号	<2	-	<2	<2	ppm
			2号	-	<2	<2	<2	
			3号	-	<2	<2	-	
水銀	50	-	1号	0.47	-	0.56	0.76	μg/m ³ N
			2号	-	0.33	0.20	0.23	
			3号	-	0.26	0.33	-	

(注)

- 1 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 2 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 3 ppmは、100万分の1の割合を表します。

② 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和6年7月2日	令和6年9月19日	令和6年11月5日	
1	温度	45未満	32.4	35.5	25.8	℃
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.5	7.4	7.9	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	83	33	7	mg/L
4	浮遊物質量 (SS)	600未満	12	9	7	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出 物質含有量	30以下	<1	<1	<1	mg/L
6	フェノール類	5以下	0.08	0.07	<0.05	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	0.12	0.02	0.23	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	<0.01	0.01	0.01	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	<0.1	0.1	1.2	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
12	窒素含有量	120未満	20	13	12	mg/L
13	燐含有量	16未満	0.18	0.08	0.27	mg/L
14	沃素消費量	220未満	39	20	2	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	<0.001	<0.001	<0.001	mg/L
16	シアン化合物	1以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
19	六価クロム化合物	0.5以下	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L

② 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和6年7月2日	令和6年9月19日	令和6年11月5日	
22	アルキル水銀化合物	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
36	シマジン	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
38	チウラム	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	15以下	0.31	0.46	0.29	mg/L
41	ほう素及びその化合物	230以下	0.66	1.4	0.40	mg/L

③ 臭気調査結果

調査年月日：令和6年6月24日(月)

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点			定量下限値
		①	②	③	
臭気指数	12	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気が感じられなくなるまで無臭空気希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

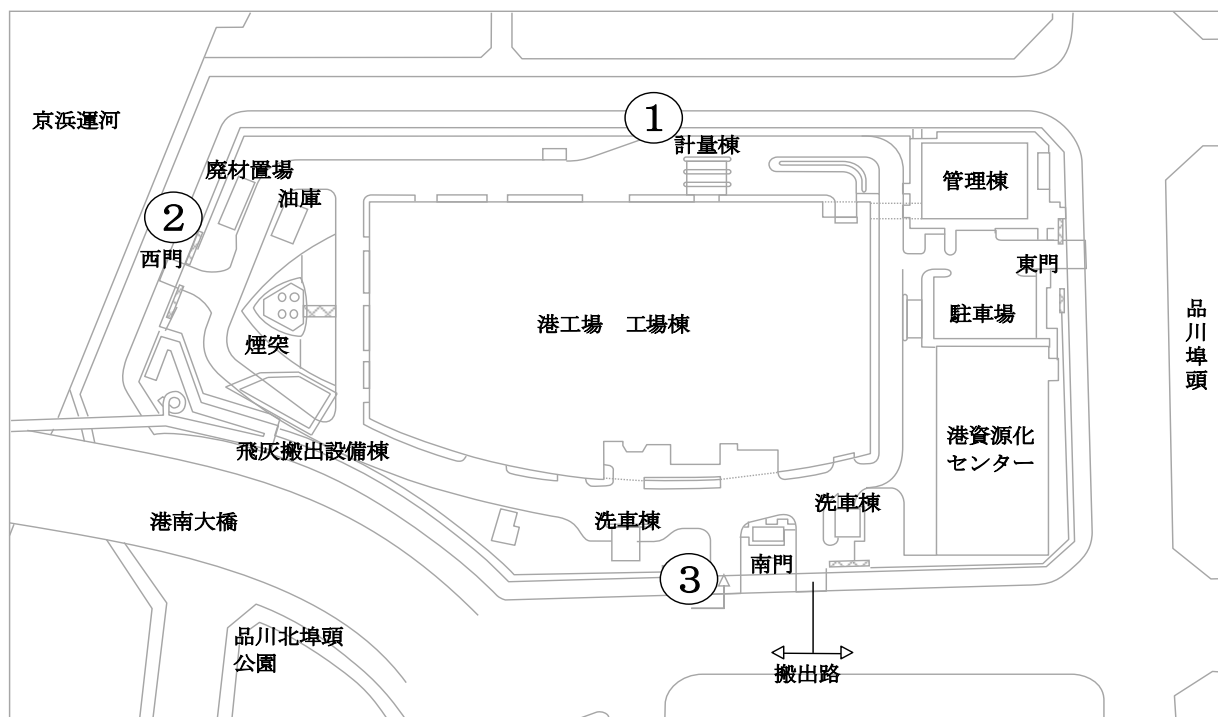
臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

この10倍希釈において臭気が感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

(参考)

臭気指数 = $10 \times \log$ (希釈倍率)

例: 試料を100倍に希釈したときの臭気指数 $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

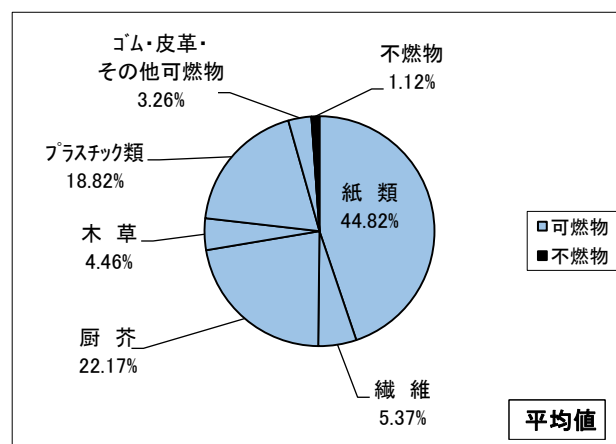
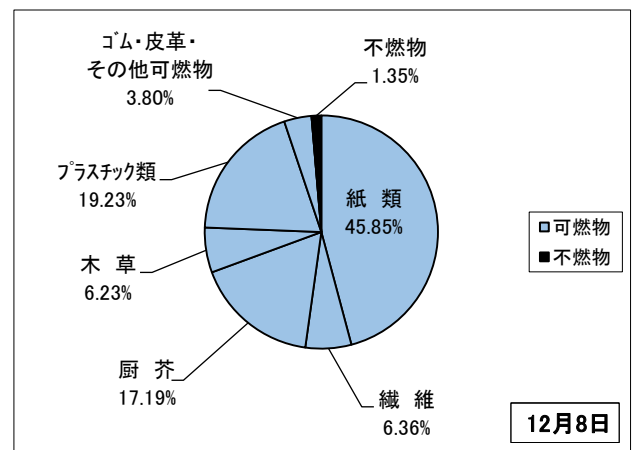
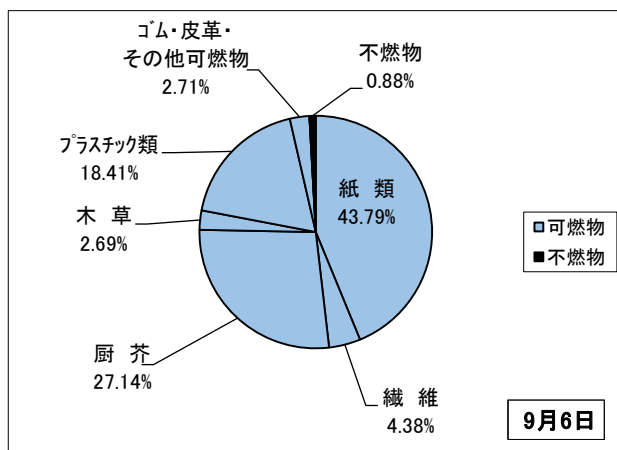


④ ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社
(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

分類項目	調査年月日		
	令和6年9月6日	令和6年12月8日	平均値
可燃物	99.12	98.65	98.89
紙類	43.79	45.85	44.82
繊維	4.38	6.36	5.37
厨芥	27.14	17.19	22.17
木草	2.69	6.23	4.46
プラスチック類	18.41	19.23	18.82
ゴム・皮革	0.55	1.36	0.96
その他可燃物	2.16	2.44	2.30
不燃物	0.88	1.35	1.12
金属	0.32	0.39	0.36
ガラス	0.34	0.25	0.30
石・陶器	0.05	0.00	0.03
その他不燃物	0.16	0.71	0.44
合計	100.00	100.00	100.00

(注) 端数処理のため、合計が合わない場合があります。



⑤ ダイオキシン類調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

項目		基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1号炉	1	0.0000017	令和6年11月22日	ng-TEQ/m ³ N
	2号炉		0.00000029	令和6年11月25日	

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。